

各部の概要

小学部

小学部では、子どもが「日常生活で、できることを増やしたり、ひろげたりして、それらを生活のなかで生かすことができるようにする」ことをねらいとし、子どもたちの姿をとらえ、将来を見据えて指導にあたっている。		
心と体を育てる	身辺自立の基礎を育てる	集団に参加する力を育てる
・あいさつ、返事を通して	・できることを見極めて	・みんなで活動する場をもって
・動きたくなる場面を設定して	・体得するまで繰り返して	・友達とかかわる場を設定して
・生活にリズムをもたせて	・多くの生活経験を通して	

○ ふようタイム

友達や教師との多様なかかわりを体験できるような活動や、作物を栽培する活動を行う。1・2年生においては、ことばやかずにかかわる指導も進められるよう柔軟に取り組んでいる。また、小学部全員で行うふようタイムの時間を、「わくわくタイム」と呼び、子どもがわくわくするような遊びを中心とした活動を用意し、個々のねらいに迫れるようにしている。

○ 日常生活の指導

各学級とも、月曜日から金曜日の第4校時に日常生活の指導を位置付けている。食事の指導を中心にして、衣服の着脱、手洗い、排せつなどの身辺自立ができることをめざして実施している。

中学部

中学部では、社会自立の基礎づくりとして、「友達と活動する中で人とのかかわりをもつことができる子」「自分のことは自分でできる子」を育てることをねらいとしている。また、生活の中に生きる基礎的な学力を習得できるようにするとともに、体験を通して、働く意欲や継続して取り組む力が育つように支援している。

生活の中で生かせる 基礎的な学力をつける	継続して取り組む力を育てる	人・もの・こととのかかわりをひろげる
・ 一人一人の子どもに合った 教材・教具を工夫して	・ 生徒会，委員会活動で役割をもたせて	・ 学校行事や中学部行事， ふようタイムを通して
・ 多様な学習集団を編成して	・ 作業学習で一つの仕事を繰り返して	・ 中学部全員で活動する場 (朝の集会活動等)を設定して

○ ふようタイム

子どもの興味・関心に基づいた楽しい活動を通して、人やもの、こととのかかわりをひろげることができるように実施している。

○ きらきらタイム (総合的な学習の時間)

『生き物 大好き 自分 大好き』をテーマに、栽培活動や調理活動を通して、生き物や食を大切にする心を育てるとともに、自分自身の健康・命について考えるようにしている。

○ グループ別学習

国語，数学，職業・家庭の3教科については、学年の枠をはずした三つのグループを編成し、個々の学習がより深まるようしている。

○ 作業学習，校内実習，職場体験学習

作業学習は，1年「工芸」，2年「食品加工」，3年「清掃・クリーニング」を行う。

校内実習では，子どもが仕事内容を理解し，長時間仕事を続けられるように指導を行う。3年生は，地域の事業所で数日間の職場体験学習を行っている。

高等部

高等部では、子どもが卒業後、社会的にも、職業的にも自立できるように、「社会の中で生きる力を身につけるとともに、生活経験をひろげ、基礎的な知識を得て、働く意欲や体力を高める」ことをねらいとしている。

社会で生きる力を伸ばす	働く意欲を高める	社会や人とのかかわりをひろげる
・ 日常生活にかかわる内容を学習対象にして	・ 校内実習，職場体験学習，現場実習を通して	・ 校外学習を実践の場として
・ 学校行事や高等部行事，ふようタイム，ドリームタイム（総合的な探究の時間）を通して	・ 作業学習で働いた成果を実感できる場を通して	・ 他校の生徒と交流できる場を通して

○ ふようタイム

買い物学習や外食学習，他の特別支援学校との交歓会など，独自性のある活動や楽しい学習を通して，個々が社会自立をめざし，生きて働く力を培うことをねらいとして実施している。

○ ドリームタイム（総合的な探究の時間）

『見つけよう わたしたちの楽しい時間』をテーマに，個々の余暇活動の充実を図ることをねらいとして実施している。

○ 作業学習，校内実習，職場体験実習・現場実習

「農園芸・清掃」・「窯業」・「縫製」・「木工」の各班にわかれて作業学習を行う。

校内実習では，就労先での勤務により近い形で，作業の形態や時間帯を設定し，指導を行う。1・2年生は，夏休みに1週間程度，後期に1週間の職場体験実習を行い，3年生は各事業所等で，前期と後期，各2週間の現場実習を行う。